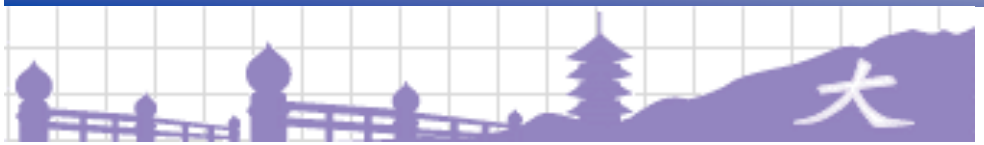
日仏友好150周年記念　Workshop on WATER & CELL PHYSIOLOGY



京都、ウエスティン都ホテル

2008年11月26，27日

本シンポジウムの目的は、水の物理学的、化学的性質からはじまり、さまざまな研究手法から細胞生理を理解しようとするものです。したがって、さまざまな研究分野の人々が一同に集まり、研究成果を議論することになります。また、本シンポジウムは、日本とフランスの友好条約が結ばれて150周年になる本年に開かれることにも意味があります。 フランスからは、水に関して、物理、化学、生物の研究者が来日する予定になっております。

特に、理論、実験から得られた生体での水のシステム、すなわち、蛋白表面、細胞膜、細胞そのもの研究データについて、忌憚ない意見交換の場にすることを目指しています。

プログラムの特徴は、水とゆかりの深い京都で、細胞レベルの話だけではなく、さまざまな生活に密着した水に関するテーマも含み、完全に理解されていない生体での水の機能をターゲットとして構成したことで、これによって、人の生活に、水の果たす役割の重要さを理解できるようになることを期待しています。

プログラムの詳細は、ホームページをご覧ください。なお、ポスターを募集していますので、参加されるかたは、下記アドレスから、アクセスしてください。

ホームページ：http://hbrc.kuhp.kyoto-u.ac.jp/water.html

連絡先：京都大学医学研究科附属高次脳機能総合研究センター

電話：075－751－3695

E-mail : f-jsympo@bpp2.kuhp.kyoto-u.ac.jp

Liberté • Égalité • Fraternité
RÉPUBLIQUE FRANÇAISE
在日フランス大使館

cea

NeuroSpin

水と生体機能のシンポジウム

プログラム

11月25日:

歓迎会（関西日仏学館）

11月26日:

-セミナー: 水分子から蛋白

-キーノートレクチャー:

アジアにおける水と生活

京都の水の歴史：繊維染色

-バンケット

11月27日:

-セミナー: 水、生体膜、細胞生物学

講演者リスト（フランス）

P. Caro, Academy of Sciences
M Tarek, CNRS, Vandoeuvre-lès-Nancy
B. Cabane, ESCPI/CNRS, Paris
C. Bellissent-Funel, LLB/CNRS, Saclay
G. Zaccai, ILL, Grenoble
G. Herve, University of Paris VI/CNRS
P. Mentre, IPB, Paris
D. Le Bihan, NeuroSpin/CEA, Saclay

講演者リスト（日本）

藤吉　好則（京大）
中原　勝（京大）
平田　文夫（分子研究所）
月田　早智子（阪大）
片岡　幹雄（奈良先端大）
松林　公蔵（京大）
浦川　宏（京都工繊大）
木下　専（京大）
曽我部　正博（名大）

KYOTO UNIVERSITY FOUNDED 1897 KYOTO JAPAN

KYOTO UNIVERSITY HBRC ESTABLISHED -1993- EVOLVED -2000- GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE